

Castelo de Vide

について



カステロ・デ・ヴィデ

町の白壁の家々で囲まれた城は周囲の景色を背景にそびえ立ち、訪問者が驚かされる多くのものの中で、まず最初に圧倒される1つであることは間違いありません。この高台から眺めると、アレンテージョ（Alentejo）の壮大な景色の全貌が一望できます。広大な田園地方の中に消え入る小さな村々は視界から消え去ります。カステロ・デ・ヴィデ（Castelo de Vide）から20キロメートルほど離れた丘の上の街、マルヴァン（Marvão）がすぐ近くに見え、そこから少し先にはスペインとの国境、さらにその奥にスペイン本土がご覧いただけます。

北側斜面には、城と町の噴水との間に一続きの狭い通りが見られますが、ユダヤ人街として知られる歴史的な地区との境界となっています。カステロ・デ・ヴィデのユダヤ人街は、13世紀のディニス王（D. Dinis）の時代にポルトガルにユダヤ人が居住していたことを示す重要な例の1つです。この町のユダヤ人街はポルトガルで最もよく保存されているものの1つで、この数年間は、地元建造物の発見と再生のための詳細な計画に組み入れられています。この地域は、ゴシック時代の極めて興味深い建築物が最も多く残っているエリアの1つです。

この町独自の中世の魅力を味わう最もよい方法は、傾斜のある狭い通りを行き当たりばったりで散策することです。

しかし、カステロ・デ・ヴィデには、この他にも訪れる価値のある歴史的建造物が数多くあります。例えば、この地方最古の礼拝堂で（13世紀末）、内部は青と白のアズレージョのパネルで覆われたサルヴァドル・ド・ムンド礼拝堂（Capela do Salvador do Mundo）や15世紀に建てられ、18世紀に再建されたサン・ロケ礼拝堂（Capela de São Roque）などが挙げられます。しかし、これらはこの街にある24の教会のうちの2つにすぎません。

時間とエネルギーがまだ残っているのであれば、カステロ・デ・ヴィデ郊外にある丘に登ることをお勧めします。ここからノッサ・セニョーラ・ダ・ペーニャ礼拝堂（Capela de Nossa Senhora da Penha）がご覧いただけ、全く異なる町の景観を満喫することができます。

カステロ・デ・ヴィデは常にその豊富な天然資源で有名です。特に温泉は優れた治療効果があると言われています。ここにはいくつかの泉がありますが、中でもおそらくフォンテ・ダ・ヴィラ（Fonte da Vila）とフォンテ・ダ・メアリャーダ（Fonte da Mealhada）が最も有名でしょう。しかし、一言忠告しておきます。言い伝えを信じるのであれば、フォンテ・ダ・メアリャーダの水を飲んだ人はすべて、いつの日にかカステロ・デ・ヴィデに戻って結婚すると信じられていることを心にとどめておいてください。